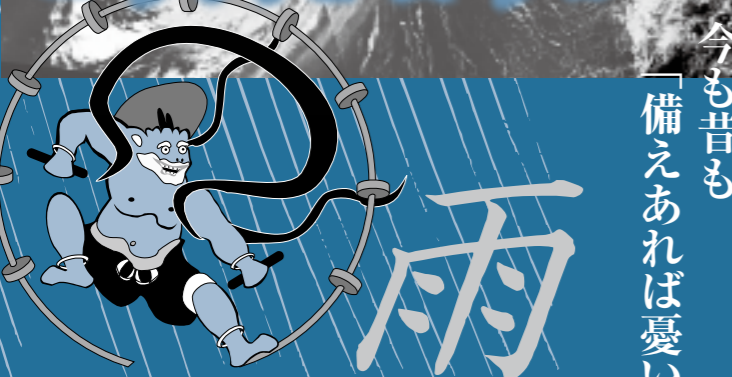


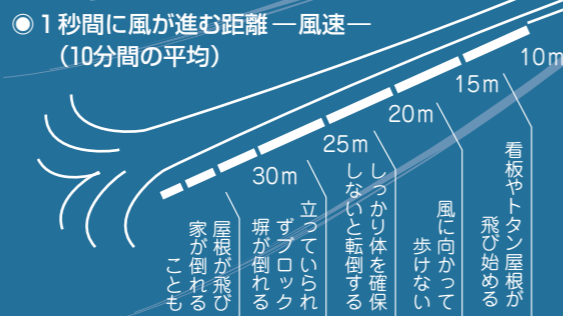
台風と雨の神々



地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら災害の危険性が高くなります。気象情報に注意し、浸水対策など、十分な警戒が必要です。

今も昔も
「備えあれば憂いなし」!

科学技術が進歩した今の世であっても、太古から変わらず人々が恐れてやまない天変地異。なかでも台風は毎年日本列島を襲うにもかかわらず、被害が後を絶ちません。天空の神々は依然人々に猛威を振っています。



- やっぱり大切なのは日頃からの備え**
- 家の周りを保全する（側溝、外壁、アンテナ、鉢など）
 - 停電に備える（懐中電灯、携帯ラジオ、電池など）
 - 非常持出品を準備する（貴重品、食料、薬など）
 - 断水に備える（飲料水、浴槽に水を張るなど）

- 台風が近付いてきたら…**
- 気象情報に注意する（テレビ、インターネットなど）
 - 窓ガラスなどを補強する（台風が接近する前に）
 - むやみに外出しない（危険な行動はしない）
 - 浸水の恐れがある時は、家財道具を移動させる
 - 高齢者や子どもは安全な場所に早めに避難する

手軽にできる「水土嚢」
40ℓ程度のごみ袋を二重にして半分程度の水を入れ、ダンボールに入れてつなげば初期の浸水に対応できます。

地震

地震が到達する直前の行動があなたを守る—緊急地震速報が始まります—

近年大きな地震が多発していますが、気象庁が今年10月から「緊急地震速報」をテレビ、ラジオなどで情報提供します。これは最大震度5弱以上と推定した地震が起きた場合に、強い揺れ（震度4以上）の可能性のある地域名を、強い揺れが来る前（数秒から数十秒前）にお知らせするものです。短い間ですが、少しでも身を守る行動を取ってください。（震源が近い場合には速報が間に合わないこともあります）

家の中では……頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる（外へ飛び出さない）
屋外では……看板や割れたガラスの落下、ブロック塀の倒壊に注意し、ビルから離れる
自動車運転中は……ハザードランプを付け、揺れを感じたら停止（急ブレーキをかけない）

災害発生や前兆を発見したら、ご連絡ください

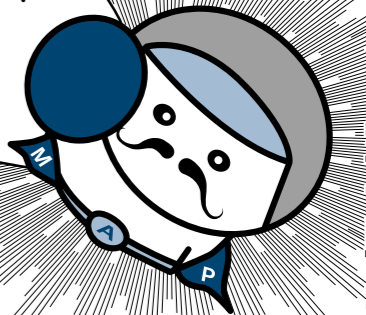
危機管理室 ☎32-2042
災害対策本部 ☎23-2130
消防署 ☎31-1119

津山市の新しいまちづくりをシリーズでお伝えする

まちづくりニュース

まちづくりプロジェクト推進室 ☎32-2169(再開発)
環境アセスメントへ！ ☎32-2059(ごみ)

この夏休み、多くの子どもたちが集まったまちなか。子どもが楽しめる拠点となりつつあります。ごみ処理センター（仮称）・クリーンセンター（仮称）建設は、いよいよ次の段階、環境アセスメントへ！



まちなか元気キャンペーン盛況の内に幕を下ろす 再開発



10/6(土)・7(日) 10:00~
好評につき今年も開催！
ケーキフェスタ
地域交流センター

8月27日まで開催され、多くの人がまちなかに集まった「まちなか元気キャンペーン」。今後は、なかでも「夏休みこどもまつり」を津山の新しい風物詩に育てていきたいと思ひます。今年の沖縄の「きれいなサンゴとかわいい魚たち」に続く来夏の企画をお楽しみに！

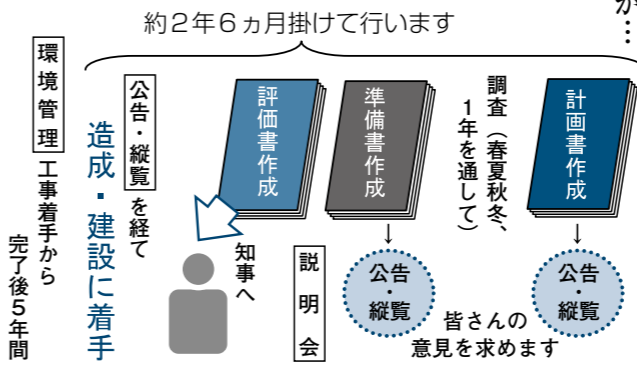


クリーンセンター（仮称）建設の周辺環境への影響は？ ごみ



といた疑問・心配に数値などを示して答えるために行うのが…

- ① ダイオキシン類の影響は？
- ② 悪臭・騒音・振動は？
- ③ 河川・地下水への影響は？
- ④ 交通量の増加は？



①～④に対しては…
①排出量は国の基準の10分の1以下に②建物の悪臭・騒音対策を徹底③浸出水は再利用④分散搬入により対応するなど、より環境に配慮した施設にします